

Abstract of JP7-42238U

[ABSTRACT]

[Object]

To add a function of a remote controller for controlling a TV set to a device for transmitting a signal for identifying a user, so as to calculate a user-based audience rating of TV programs using the device.

[Configuration]

Groups of buttons K1 through K4 used for controlling a TV set and a group of buttons K5 used for transmitting a signal for identifying a user are located on a front panel 2 of the device of the present invention. When one of the buttons in the groups K1 through K4 is pushed, a code for controlling a TV set corresponding to that button is transmitted by infrared light. It is possible to assign the buttons K1 through K4 different codes to correspond to different TV manufacturers. When one of the buttons in the group K5 is pushed, a code for identifying a user corresponding to that button is transmitted by infrared light.

[Effects]

Since the buttons can be assigned codes for different TV manufacturers, it is possible to provide viewing histories of users and to control TV sets of different manufacturers using the device.

477

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-42238

(43) 公開日 平成7年(1995) 7月21日

(51) Int.Cl.⁸

H 0 4 H 9/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願平5-73046

(22) 出願日 平成5年(1993)12月21日

(71) 出願人 591101434

株式会社ビデオ・リサーチ
東京都中央区銀座2丁目16番7号

(72) 考案者 伊藤 義和

東京都中央区銀座2丁目16番7号 株式会
社ビデオ・リサーチ内

(72) 考案者 市毛 英俊

東京都中央区銀座2丁目16番7号 株式会
社ビデオ・リサーチ内

(74) 代理人 弁理士 境 廣巳

個人を識別 (71, 72, 74)

別紙を添付 (71, 72, 74)

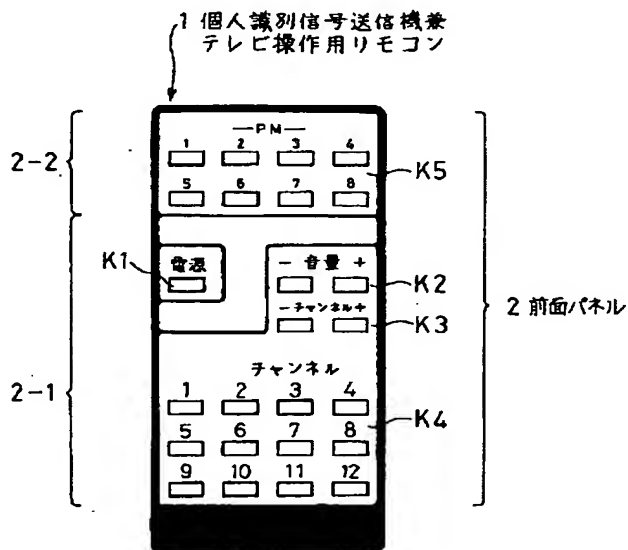
(54) 【考案の名称】 個人識別信号送信機兼テレビ操作リモコン

(57) 【要約】

【目的】 テレビの個人視聴率測定時に使用する個人識別信号送信機にテレビ操作用のリモコン機能を付加して、テレビの操作も同時に行えるようにする。

【構成】 ケースの前面パネル2上にテレビ操作用釦群 K1~K4 と、個人識別信号送信用釦群 5 とが配設されている。テレビ操作用釦群中の何れかの釦が操作されると、操作された釦に対応するテレビ操作コードが赤外線により送信される。このテレビ操作コードは複数のテレビメーカー用のコードのうちの任意のコードをプリセットすることができる。また、個人識別信号送信用釦 K5 の何れかの釦が操作されると、操作された釦に対応する個人識別コードが赤外線により送信される。

【効果】 各テレビメーカー対応のテレビ操作コードの任意のものをプリセットできる為、1台でメーカーの相違する複数種のテレビに対応できる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 ケース前面パネル上にテレビ操作用釦群と個人識別信号送信用釦群とが配設され、前記テレビ操作用釦群中の何れかの釦の操作にตอบสนองして、操作された釦に対応するテレビ操作コードを赤外線により送信し、前記個人識別信号送信用釦群の何れかの釦の操作にตอบสนองして、操作された釦に対応する個人識別コードを赤外線により送信する個人識別信号送信機兼テレビ操作リモコン。

【請求項 2】 複数種のテレビ操作コード群を記憶する記憶手段と、

該記憶手段に記憶された複数種のテレビ操作コード群のうちの任意の 1 つのコード群のプリセットが可能であって且つ前記テレビ操作釦群中の何れかの釦の操作にตอบสนองして現プリセット中のコード群における前記操作された釦に対応するテレビ操作コードを発生するテレビ操作コード発生部と、

前記個人識別信号送信用釦の操作にตอบสนองして、操作された釦に対応して予め定められた固定の個人識別コードを発生する個人識別コード発生部と、

該個人識別コード発生部および前記テレビ操作コード発生部で発生されたコードを赤外線により送信する赤外

線発光部とを含むことを特徴とする請求項 1 記載の個人識別信号送信機兼テレビ操作リモコン。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案の個人識別信号送信機兼テレビ操作リモコンの一実施例の正面図である。

【図 2】 本考案の個人識別信号送信機兼テレビ操作リモコンの電気的な構成例を示すブロック図である。

【図 3】 テレビ操作コード発生部のコードプリセット処理の一例を示すフローチャートである。

【図 4】 本考案の個人識別信号送信機兼テレビ操作リモコンと対して使用される受信機の構成例およびテレビジョン視聴率測定装置全体の構成例を示す図である。

【図 5】 固定ユニットの外観の例とその設置例を示す図である。

【符号の説明】

1 … 個人識別信号送信機兼テレビ操作リモコン

2 … 前面パネル

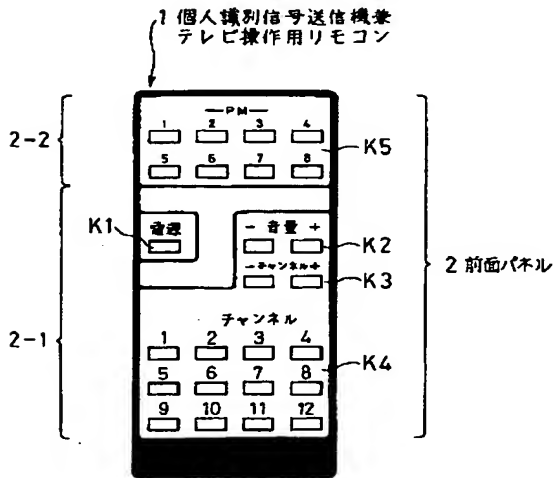
2-1 … テレビ操作釦群が配設されたエリア

2-2 … 個人識別信号送信用釦群が配設されたエリア

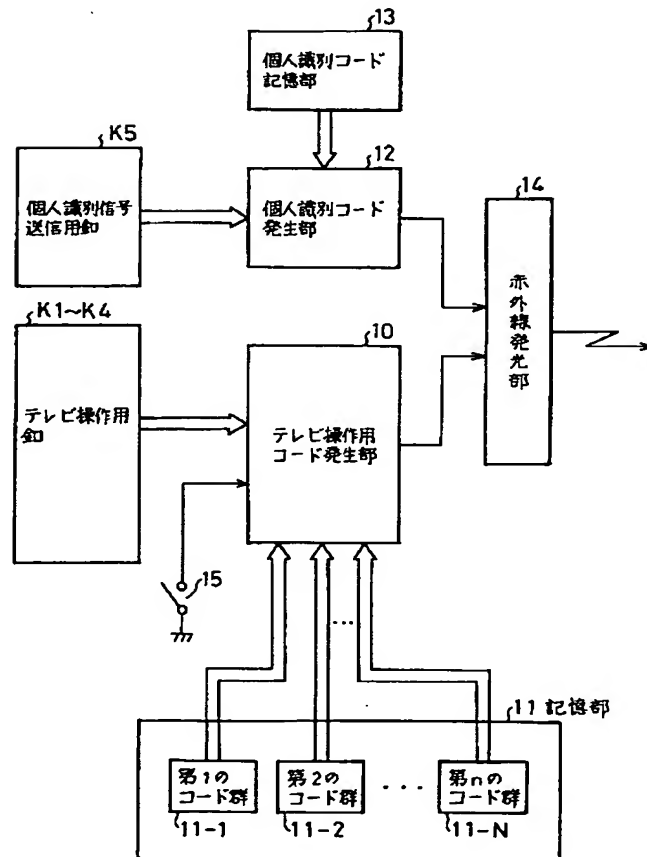
20 K 1 ~ K 4 … テレビ操作の各種の釦

K 5 … 個人識別信号送信用の釦

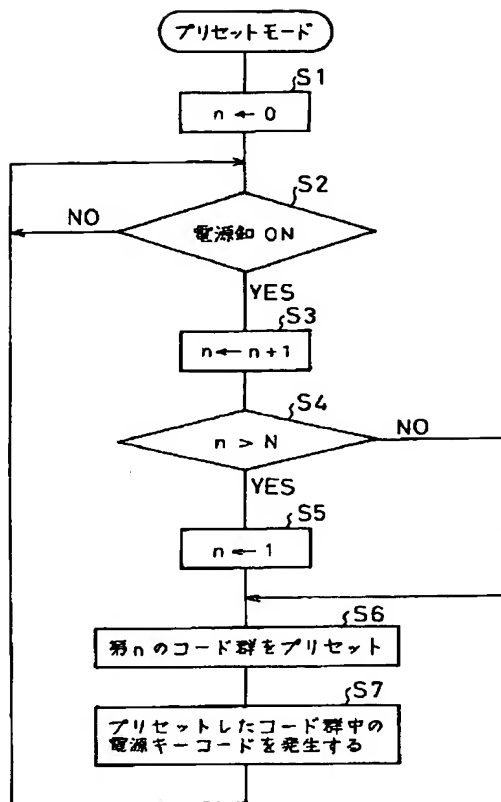
【図 1】



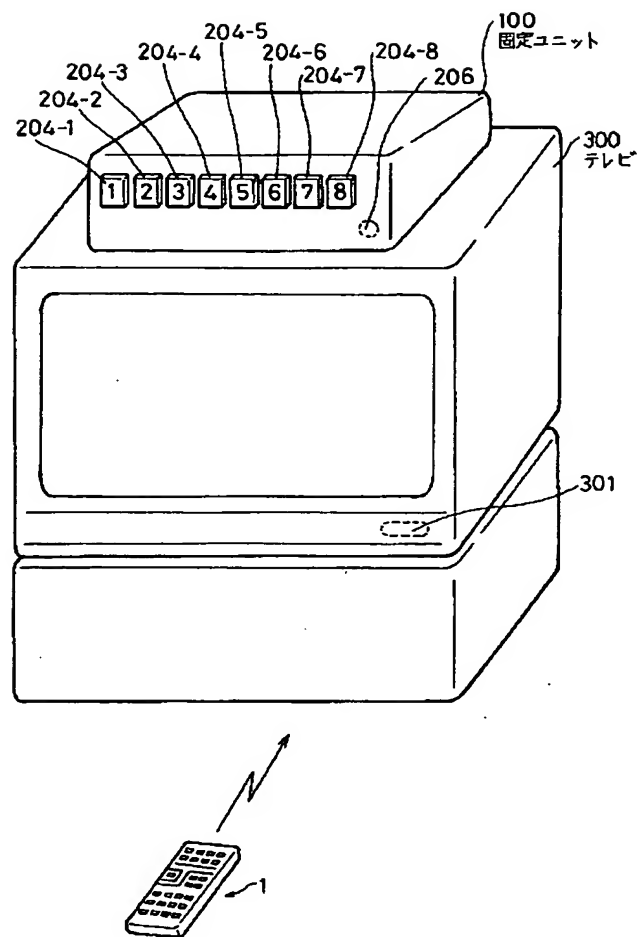
【図 2】



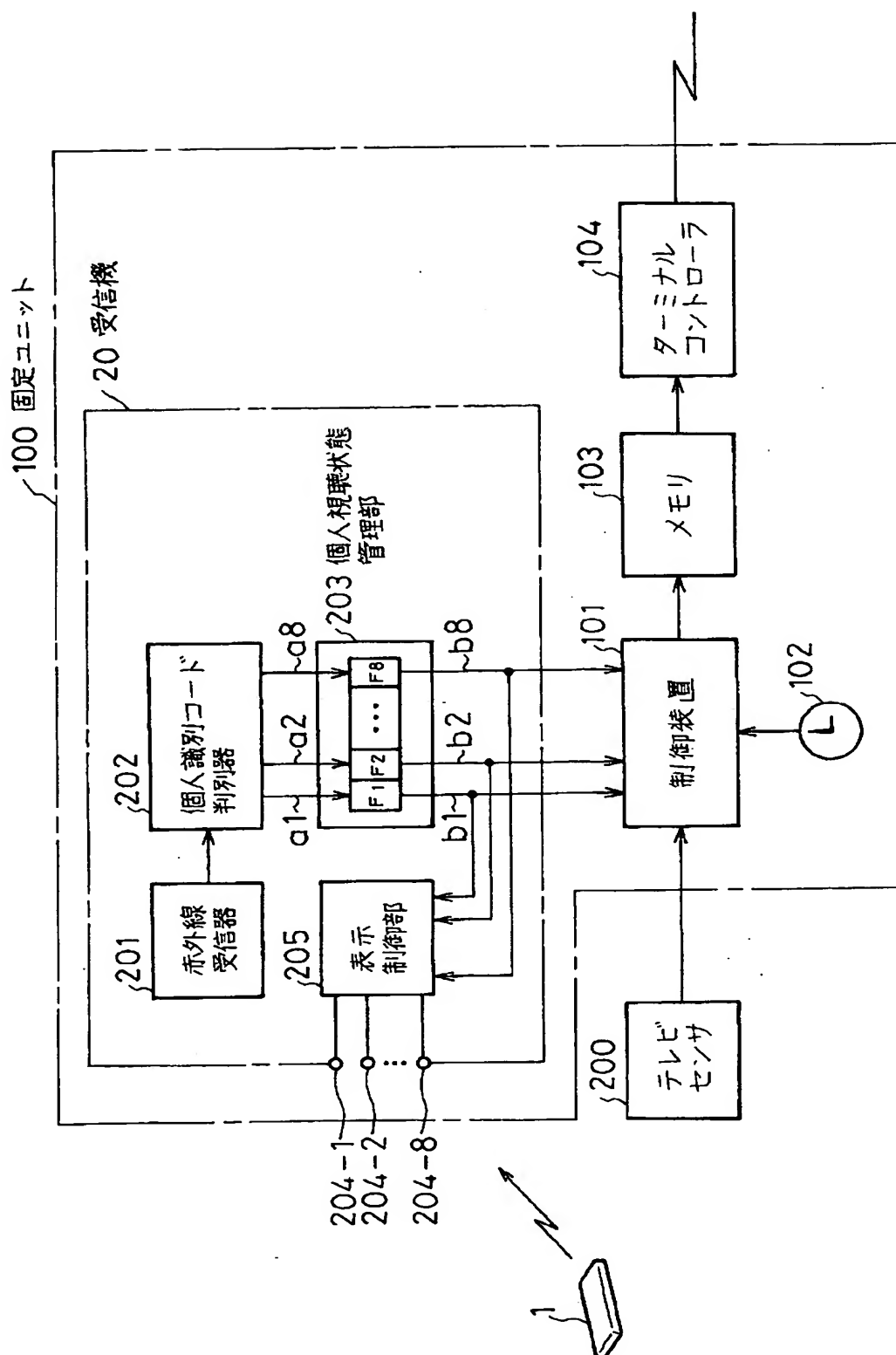
【図3】



【図5】



【図4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、テレビの個人視聴率測定時に使用する個人識別信号送信機に関し、特にテレビの操作も同時に行えるようにした個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンに関する。

【0002】

【従来の技術】

テレビの個人視聴率測定装置としては種々の装置が提案されているが、その内の1つに、各個人が視聴開始時および視聴終了時に自己に割り当てられた識別コードを送信機の釦操作によって送信し、テレビの近傍に設置された固定ユニット内の受信機で上記送信コードを受信識別して、視聴中の個人の情報を得るようにした装置がある（例えば特願昭62-130791号参照）。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

ところで、テレビの操作は今やリモコンによる遠隔操作が一般的になってきている。従って、個人視聴率測定を上述した個人識別信号送信機を用いて実施するモニタ世帯では、視聴率測定用のための送信機、テレビ操作用のリモコンといった種類の異なる2台の装置を保管しておく必要がある。また、テレビの視聴を開始する場合には、先ずテレビ操作用リモコンを手にとって電源釦やチャンネル選局釦を操作し、次に個人識別信号送信機を手にとって自己の識別信号を送信するという作業が必要になる。

【0004】

そこで本考案の目的は、テレビの操作も同時に行えるようにした個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンを提供することにより、保管に関する問題点を解消し、且つ、モニタ者の日々の負担を軽減することにある。

【0005】

なお、各モニタ世帯に設置されるテレビのメーカーは一様でなく、メーカーが異なるとそのテレビ操作用リモコンの送信コードも相違する。従って、個人識別信号

送信機兼テレビ操作用リモコンとして、或る固定のメーカーのみのテレビ操作が行える専用タイプのものとすると、メーカーの種類だけの個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンが必要となる。

【0006】

そこで本考案の別の目的は、1台の個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンでメーカーの相違する複数種のテレビに対処し得るようにすることにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本考案の個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンは上記の目的を達成するために、

ケース前面パネル上にテレビ操作用釐群と個人識別信号送信用釐群とが配設され、前記テレビ操作用釐群中の何れかの釐の操作に応答して、操作された釐に対応するテレビ操作用コードを赤外線により送信し、前記個人識別信号送信用釐群の何れかの釐の操作に応答して、操作された釐に対応する個人識別コードを赤外線により送信する構成を有している。

【0008】

また、1台の個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンでメーカーの相違する複数種のテレビに対処し得るようにするために、

複数種のテレビ操作用コード群を記憶する記憶手段と、

該記憶手段に記憶された複数種のテレビ操作用コード群のうちの任意の1つのコード群のプリセットが可能であって且つ前記テレビ操作用釐群中の何れかの釐の操作に応答して現プリセット中のコード群における前記操作された釐に対応するテレビ操作用コードを発生するテレビ操作用コード発生部と、

前記個人識別信号送信用釐の操作に応答して、操作された釐に対応して予め定められた固定の個人識別コードを発生する個人識別コード発生部と、

該個人識別コード発生部および前記テレビ操作用コード発生部で発生されたコードを赤外線により送信する赤外線発光部とを備えている。

【0009】

【作用】

本考案の個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンにおいては、記憶手段が各テレビメーカー対応のテレビ操作コード群を記憶しており、その任意の1つのコード群をテレビ操作コード発生部にプリセットできる。従って、モニタ世帯に設置されたテレビのメーカーに合致するコード群をプリセットすることにより、当該個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンでそのテレビの操作が行える。即ち、ケース前面パネル上に配設されたテレビ操作用釦群の何れかの釦が操作されると、テレビ操作コード発生部が現プリセット中のコード群における前記操作された釦に対応するテレビ操作コードを発生し、赤外線発光部がその発生されたコードを赤外線により送信する。

【0010】

他方、ケース前面パネル上に配設された個人識別信号送信用釦群の何れかが操作されると、個人識別コード発生部がその操作された釦に対応して予め定められた固定の個人識別コードを発生し、赤外線発光部がその発生されたコードを赤外線により送信する。

【0011】

【実施例】

次に本考案の実施例について図面を参照して詳細に説明する。

【0012】

図1は本考案の個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンの一実施例の正面図である。同図を参照すると、本実施例の個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコン（以下、単にリモコンと称す）1の前面パネル2には、テレビ操作用釦群用のエリア2-1と個人識別信号送信用釦群用のエリア2-2とがあり、前者のエリア2-1には、例えば図示するような、電源釦K1、音量調節釦K2、チャンネル増減釦K3、チャンネル選局釦K4が配設され、後者のエリア2-2には、例えば1～8の数字を付した合計8個の個人識別信号送信用の釦K5が配設されている。

【0013】

図2は図1に示したリモコン1の電氣的な構成例を示すブロック図であり、10はテレビ操作コード発生部、11は各テレビメーカーのテレビ操作コード群

11-1~11-Nを記憶している不揮発性の記憶部、12は個人識別コード発生部、13は個人識別コードを記憶している不揮発性の個人識別コード記憶部、14は赤外線発光部、15はモード切り替えスイッチであり、K1~K4は図1に示されるテレビ操作用釦を、K5は個人識別信号送信用の釦を示す。

【0014】

図3はモード切り替えスイッチ15がプリセットモード側に切り替えられているときのテレビ操作用コード発生部10の処理例を示すフローチャートである。同図に示すようにプリセットモードになると、テレビ操作用コード発生部10は、内部変数nを0に初期化した後(S1)、テレビ操作用釦のうちの電源釦K1がオンされるのを待ち(S2)、電源釦K1がオンされると、内部変数nを+1して(S3)、記憶部11に記憶されたN個のコード群のうちの第nのコード群11-n、従って最初はコード群11-1をプリセットし(S6)、このプリセットした第1のコード群11-1中の電源釦に対応するコードを発生する(S7)。そして、再び電源釦K1がオンされるのを待つ(S2)。

【0015】

テレビ操作用コード発生部10で発生された電源釦に対応するコードは赤外線発光部14に入力され、この赤外線発光部14で図示しない赤外発光ダイオードが駆動されて、電源釦に対応するコードを示す赤外線を外部に照射する。これにより、プリセットモード後の最初の電源釦K1操作時には、第1のコード群11-1に従った電源制御用のコードがリモコン1から送出されることになる。

【0016】

また、電源釦K1を再度操作すると、テレビ操作用コード発生部10は、内部変数を+1して2とし(S3)、第2のコード群11-2をプリセットして(S6)、この第2のコード群11-2中の電源釦に対応するコードを発生する(S7)。従って、電源釦K1の2度目の操作時には第2のコード群11-2に従った電源制御用のコードがリモコン1から送出されることになる。

【0017】

テレビ操作用コード発生部10は電源釦K1が操作される毎に上述した動作を繰り返し、内部変数nがコード群の数Nを超えると(S4でYES)、内部変数

nを1にして(S5)、再び第1のコード群11-1をプリセットする状態となる(S6)。

【0018】

従って、モニタ世帯に設置されたテレビをリモコン操作可能な状態にしておき、リモコン1をプリセットモードにして電源釦K1を押すと、最初は第1のコード群11-1に従った電源制御用のコードがそのテレビに送出され、その後、電源釦K1が操作される毎に、第2のコード群11-2、…、第Nのコード群11-Nに従った電源制御用のコードがそのテレビに送出されることとなる。このため、そのテレビが例えば第2のコード群11-2に対応するメーカーのものであったとすると、電源釦K2を2度目に操作した時点でテレビに変化(オン中であればオフ、オフ中であればオン)が生じ、これにより、合致するコード群のプリセットが行われたことを確認することができ、モード切り替えスイッチ15を固定モード側に切り替えることで、以後、プリセットされた第2のコード群11-2に従ってコードが発生される状態になる。

【0019】

即ち、リモコン1のテレビ操作釦K1~K4の何れかが操作されると、テレビ操作コード発生部10はプリセットされた第2のコード群11-2における上記操作された釦に対応するコードを発生し、赤外線発光部14はこのコードを示す赤外線を出射する。

【0020】

他方、個々の個人識別信号送信用釦K5に対応するコードは固定的に個人識別コード記憶部13に記憶されており、何れかの個人識別信号送信用釦K5が操作されると、個人識別コード発生部12は個人識別コード記憶部13に記憶された合計8個の個人識別コードのうちの上記操作された釦に対応するコードを発生する。この発生された個人識別コードは赤外線発光部14に入力され、赤外線発光部14は入力されたコードを示す赤外線を外部に送出する。

【0021】

図4は上述したリモコン1と組み合わせて使用される受信機20の構成例およびテレビジョン視聴率測定装置全体の構成例を示す。同図に示すように、この例

の受信機20は、視聴率測定対象となるテレビの近傍に設置された固定ユニット100内に組み込まれており、赤外線受信器201と、個人識別コード判別器202と、個人視聴状態管理部203と、合計8個の表示部204-1～204-8と、表示制御部205とで構成されている。

【0022】

赤外線受信部201は、リモコン1から送信された赤外線による個人識別信号を受信する部分であり、個人識別コード判別部202は、その受信された個人識別信号から個人識別コードを判別し、信号線a1～a8のうち識別した個人識別コードに対応する信号線を一定時間だけ例えば論理“1”にする。個人視聴状態管理部203には入力が論理“1”となる毎に反転動作を行う合計8個のフリップフロップF1～F8があり、各フリップフロップF1～F8の入力に信号線a1～a8が接続され、各フリップフロップF1～F8の出力は信号線b1～b8から取り出される。表示制御部205は信号線b1～b8の状態に応じて表示部204-1～204-8を制御する部分である。

【0023】

なお、固定ユニット100には、他に制御装置101と時計102とメモリ103とターミナルコントローラ104とがあり、テレビのオン、オフ状態、選局中のチャンネル情報の検出を行う公知のテレビセンサ200に接続されており、リモコン1を含めて全体としてテレビジョン視聴率測定装置を構成している。

【0024】

図5に固定ユニット100の外観の例とその設置例を示す。この例では、固定ユニット100をテレビ300の上に載置してある。また、固定ユニット100の前面には、各々に数字1から数字8を付記した表示部204-1～204-8が設けられている。なお、206は固定ユニット100に設けられた赤外線受光部であり、ここから入射した赤外線が図4の赤外線受信器201に入力される。また、301はテレビ300に設けられた赤外線受光部である。

【0025】

図4および図5において、モニタ世帯の或る個人がテレビ300の視聴を開始するために、リモコン1の自己に割り当てられた釦、たとえば番号1の個人識別

信号送信用の釦 K 5 を操作すると、リモコン 1 からその釦に対応する個人識別コードを示す赤外線が送出され、固定ユニット 100 の赤外線受光部 206 を通じて受信機 20 の赤外線受信器 201 で受信され、個人識別コード判別器 202 で識別される。この結果、対応する信号線 a 1 に論理 “1” が出力され、個人視聴状態管理部 203 のフリップフロップ F 1 がセットされ、信号線 b 1 に論理 “1” が出力される。表示制御部 205 は信号線 b 1 が論理 “1” の期間中、対応する表示部 204-1 を点灯する。これにより、固定ユニット 100 の前面に設けられた表示部 204-1 が点灯する。

【0026】

その後、プリセット済のリモコン 1 のテレビ操作用釦 K 1 ~ K 4 が操作されると、前述したようにリモコン 1 からその操作された釦に対応するテレビ操作用コードが赤外線によって送出され、それがテレビ 300 に設けられた赤外線受光部 301 で受光され、周知のように内部の制御機構によりテレビ 300 の状態が制御される。

【0027】

他方、上記個人がテレビ 300 の視聴を終了するために、リモコン 1 の番号 1 の個人識別信号送信用の釦 K 5 を操作すると、受信機 20 の個人識別コード判別器 202 は再び信号線 a 1 に論理 “1” を出力するため、個人視聴状態管理部 203 のフリップフロップ F 1 は反転動作を行ってその出力を論理 “0” とする。これにより、表示制御部 205 は対応する表示部 204-1 を消灯する。

【0028】

固定ユニット 100 の制御装置 101 は、個人視聴状態管理部 203 から信号線 b 1 ~ b 8 に出力される信号を入力して、モニタ世帯の誰が何時視聴を開始し又は終了したかを監視しており、この監視した結果と、テレビセンサ 200 で検出されたチャンネル情報などから測定結果データを作成し、メモリ 103 に記録する。このメモリ 103 に記録された測定結果データは公知のようにターミナルコントローラ 104 によって電話回線等を通じてセンタに送られる。

【0029】

以上本考案の実施例について説明したが、本考案は以上の実施例にのみ限定さ

れず、その他各種の付加変更が可能である。例えば、テレビ操作用釦群中にテレビとビデオとの切り替え釦やPLAY, STOP等のビデオ操作用釦を増設すると共に、各ビデオメーカー対応のビデオ操作用コード群のプリセットも可能な構成にしておいて、テレビ操作以外にビデオの操作もできるようにしても良い。

【0030】

【考案の効果】

以上説明したように本考案によれば以下のような効果を得ることができる。

【0031】

テレビの遠隔操作と個人識別コードの送信とが1台で行えるので、保管スペースが1台分で済むなど保管上の問題が解消され、また、テレビ操作用リモコン、個人識別信号送信機を交互に手にして釦を操作するといった煩わしい作業から解放でき、モニター者の日々の負担を軽減することができる。

【0032】

各テレビメーカー対応のテレビ操作用コード群の任意のものをプリセットして使用できるため、1台の個人識別信号送信機兼テレビ操作用リモコンでメーカーの相違する複数種のテレビに対処できる。これにより、製造すべきリモコンの種類を単一化でき、製造コストの低減、製品管理の容易化が達成できる。